

平成二十五年七月二十八日 (日) 午前十時始
於・久良岐能舞台 (〇四五―七六一―三八五四)

素 謡

繪 馬

ツレ 小林 宏三

シテ 一坂 洋三

ワキ 神崎 克子

地頭・平戸仁英、副地頭・青山圭佑

融

シテ 石井佑卯子

ワキ 北島 大靖

地頭・舎川重隆、副地頭・山口健次

連 吟

田 村

シテ 鴨川 昭一

ワキ 鈴木 幸子

地謡・亀田啓子、国廣 静、三野仁子、永野由紀子

大原御幸

シテ 二宮 恵磨

内侍 高井 倫子

地謡・森川洋子、白井さつき、加藤千恵子、竹川綾子

仕 舞

夕 顔キリ

石井 静江

半 蔀クセ

内田 節子

玉之段

中尾 操

素 謡

頼 政

シテ 河野 健三

ワキ 松本 幸子

地頭・三武 孝、副地頭・越後貫 隆

浮 舟

シテ 佐川 武子

ワキ 小島 洋子

地頭・菅原秀子、副地頭・橋本鏡子、内田節子 他女性

藤 戸

シテ 渡邊 長壽

ワキ 西澤 滋幸

ワキツレ 越後貫 隆

地頭・青山圭佑、副地頭・三武 孝

連 吟

葛 城

シテ 長谷川次八

ワキ 小林 宏三

地謡・山口健次、越後貫 隆、鈴木紀子、鈴木幸子、小島洋子他

仕舞

三 輪クセ 龍田 啓子
自然居士 西尾まつ枝
善 界 糸井多倍子

素謡

誓願寺

シテ 岩淵貴美子 ワキ 龍田 啓子
地頭・平戸仁英、副地頭・三武 孝

三井寺

子方 鈴木 紀子
シテ 尾崎 純子 ワキ 三野 仁子
ワキツレ 中山 眞秀
地頭・神崎克子、副地頭・西尾まつ枝、糸井多倍子

砧

ツレ 森 庸一
シテ 松嶋 總子 ワキ 橋本 鏡子
地頭・舎川重隆、副地頭・平戸仁英

附祝言

終演午後五時頃

注①連吟の範囲

- 「田村」 〓 五丁裏のワキ「近頃」より、クセ留まで
「大原御幸」 〓 八丁表の内侍より、ロンギ留まで
「葛城」 〓 四丁表のシテ「餘」に…よりクセ留まで
②仕舞地謡担当、第一グループ（夕顔ほか） 〓 橋本、三武、平戸、渡邊、青山
第二グループ（三輪ほか） 〓 渡邊、三武、平戸、青山、北島
なお、袴後見は、地頭右隣りの方にお願ひします。

- ③今回は錬声会としますので、原則として省略箇所を設けず、その代り、地謡は速く謡って下さい。
④会費は、基本会費ペースに既定の役料を加算したものとし、当日、会計幹事により徴収させていただきます。昼食時間は特に設けません。
⑤各自ペットボトルなどで飲み物と昼食用のお弁当などをご用意下さい。
⑥会終了後、会場控室で簡単な懇親会を催します。
⑦時節柄、軽装でお出かけ下さい。仕舞は浴衣で結構です。また、謡の場合、白足袋は着用して頂きますが、洋装で構いません。